北九州市

平和のまちミュージアム

Kitakyushu City Museum of Peace

令和7年7月1日 北九州市総務市民局

報道機関各位

戦後80周年

企画展開催のお知らせ

記憶の表象 継承とは何か、を問う-

【期 間】 令和 7 年7月23日(水) ~ 令和 7 年10月 13 日(月·祝)

【会場】北九州市平和のまちミュージアム(小倉北区城内4-10)

戦争体験者が減少の一途をたどる中、その記憶の継承がますます重要な課題とされていますが、いったい何を受け継ぎ、どのような状態になれば、それは継承されたといえるのでしょうか。

本展では、<u>当たり前のように使われている「継承」という言葉そのものを捉え直します。</u> ぜひ、ご取材いただきますようよろしくお願いいたします。

見どころ

言語以外の表象による「継承」の取り組みに着目

- ○学生が被爆者の記憶や思いに寄り添い描いた原爆の絵
- ○いのちの繋がりを視覚化した被爆三世の家族写真
- ○八幡大空襲の体験者との対話を経て制作したインスタレーション
- ○生まれ育った街の戦争の痕跡・小倉陸軍造兵廠を題材にした絵
- →作品を展示するだけでなく、制作に関するプロセスに焦点化

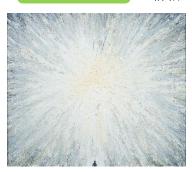
被爆者の話に耳を傾ける九州産業大学の学生▶



関連イベント

※詳細は添付のチラシをご覧ください。

ぜひ、ご取材ください!!



▲ 池田菜々香「原子爆弾と私」

○ セッション「記憶をカタチにする」

原爆の絵を描いた学生 4 人をパネラーに迎え、 トークセッションを開催

- 作者本人によるギャラリートーク 自身の作品を解説
- 館長、学芸員によるギャラリートーク 企画展の解説

【問い合わせ先】

総務市民局 平和のまちミュージアム事務局

電話:093-592-9300

カザカに 担当:居蔵(事務局長)、三角(企画係長)、水谷(学芸員)